

1	会議名	令和2年第12回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	令和2年11月19日（木）午前10時00分～午前10時40分	
3	開催場所	2階 特別会議室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委 員 西村 宏、廣田 登志子、村尾 利勝、竹田 千恵	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 : 三浦 成寿 由宇支所長 : 本田 薫 周東支所長 : 加藤 勝巳 周東支所主幹 : 弘中 勝 錦支所長 : 下村 豊 美和支所長 : 亀弘 典久 教育政策課長 : 村上 さゆり 学校教育課長 : 林 孝志 学校教育課主幹 : 仁田 誠彦 学校教育課 給食管理室長 : 西岡 薫 青少年課長 教育センター所長兼務 : 福屋 憲道 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 村重 加代子 中央図書館長 : 山本 圭子 科学センター館長 : 林 孝造	
7	会議従事職員	教育政策課 : 大黒屋 誠、村上 葵	
8	会議録署名委員	村尾 利勝、竹田 千恵	
9	議事日程		
	日程第1	会議録署名委員の指名について	
	日程第2	報告第15号	所管事項について
	日程第3	議案第33号	令和2年度教育費12月補正予算の見積りについて
会議の概要			
教育長		・ただいまから令和2年第12回岩国市教育委員会会議を開会します。はじめに、日程第1会議録署名委員の指名を行います。 ・本日の会議録署名委員は、村尾委員と竹田委員にお願いします。 ・本日の議題は、日程第2「報告第15号 所管事項について」、日程第3「議案第33号 令和2年度教育費12月補正予算の見積りについて」、以上でございます。それでは、日程第2「報告第15号 所管事項について」を議題といたします。これについては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配布しております行事予定表について、補足または所管事項に関する懸案等がありましたら説明をお願いします。	
由宇支所長		・12月行事予定ですが、6日の「ゆうたんビーチレース」は、由宇中学校のマラソン大会を兼ねております。今回は来賓等の参加を見合わせていただき、開会式等は行わず縮小計画にて実施予定ですが、今後のコロナの感染状況によっては中止もあり得ると考えております。	
学校教育課長		・10月の行事報告ですが、県が行っている「学力定着状況確認問題」が今年中止になりました。なお、例年4月に行われております「全国学力・	

生涯学習課長	学習状況調査」につきましては、2学期に行いすべての入力が終わったところ。12月に結果が出る予定になっております。 - 資料を別でお配りしております成人式についてですが、1月10日に市民文化会館において開催を二部制としております。第一部は12時30分から総合支所管内及び通津、灘、平田、岩国西、第二部が15時から岩国や麻里布など市民文化会館に近い中学校区の居住者で、感染対策を十分に行い、式典祝賀行事を短縮して30分で行う予定です。 - もう一枚、中央公民館からですが、12月20日13時30分から岩国市民文化会館にて「童謡や唱歌を歌って心とからだを元気に！」を主催で開催いたします。十分な感染対策を行い、実施する予定です。
教育長 村尾委員	- それでは、御意見・御質問がありましたらお願いいたします。 - 昨年も質問しましたが、学校教育課の課長にお尋ねします。教員の採用についてですが、教員志願者が非常に減ってきています。卒業して教員になろうという若者も全国的にだんだん減ってきています。そういった中で採用試験を行って、定数にいかないままで教員の合格発表があつて、定数以外の教員については臨時採用でまかなっているわけですが、なかなか臨採の確保も難しいのではないかと考えています。今、持ち合わせの臨採の優秀な人も本採用に移行したりと、数が減ってきて本当に厳しい状況の中で人事配置をしなければならないということで、学校教育課も大変だなと思っています。現状について、来年度を見越した臨採の埋め合わせの状況はどうですか。
学校教育課長	今、委員から御指摘があったとおり、臨時的任用教員につきまして、8月当初の配置は県教委が行っていましたが、実際に産育休に入られる方、または病休で休職に入られる方等がいらっしゃるようで、今現在足りない状況です。確保につきましては、県教委を通じて他市町とか、県境でするので広島とも連携を取りつつやっておりますが、どこの市町も実際に足りないという状況です。ただ教員の中には「非常勤ならやってもいい」という退職教員もいますので、今現在は常勤ではなく非常勤で対応しています。来年度につきましては、先日もあったのですが、四国の方から岩国市の小中一貫教育に興味があるのでぜひ岩国市で臨時採用をさせていただきたいということで面談に来られた方もおりましたので、今、岩国市が取り組んでいることをしっかりとアピールしながら臨時採用教員も募集していきたいと考えております。
村尾委員	特に中学校の教科については免許が必要になってきます。そういった中で病休や育休で穴が開いてしまうとなかなか補充できないという面があります。一時、理科の先生が足りないということがありましたが、そういった傾向はないですか。
学校教育課長	今、特定の教科で足りないということはありませんが、中学校の場合は教科を指定してきますので、2学期3学期で病休や産休が出たときには

村尾委員	免許を持った方がいないということになります。そういった場合には臨時免許等に対応していきたいと思っております。 ・ 臨免の対応はなかなか難しいですからね。そういった中で教育委員会も中国地方で魅力ある教育を発信して、やはり人集めという視点でやっていかなければならない部分もあると思います。今から毎年そのような傾向がもろに見られるのではないかと思います。ですから先取りという形で優秀な人材の確保を。そして元教育経験者であるとか退職者の押さえも十分にやっていただいて、臨採の確保については十分な態勢をとっていただきたいと思っています。支援員についてもなかなかすぐに対応ができず、人の確保が難しいという部分もありますから、それも含めて人材確保については先に動いていただいて、横の連携も図りながら頑張りたいと思います。しっかり頑張ってください。
学校教育課長 廣田委員	・ はい、わかりました。 ・ 2点ほどあります。まず1点目はコロナ関係でいろんな行事が無くなったり、形を変えたり、延期をしたりして大変な状況ですが、先日中学校の合唱祭に行ってみりました。全中学校が参加しておりました。小学校はできなかったのですが、小学生と比べて中学生の男性の声が朗々と響いておりまして、各中学校の合唱を聞きながら、それぞれの学校の生徒指導や学校の様子に思いを馳せました。これだけ一人一人が歌えるということは、岩国市の中学校は随分先生方の力で充実しているなということを感じたところでございます。 ・ 2点目ですが、今、学校教育課長の方から臨採を岩国市でやってみたいというお話がありましたけれども、昨日、岩国ひがし学園の小中一貫の研究会がありまして教育長と一緒に参観に行きました。キャリア教育を柱とした小中一貫教育の推進というテーマだったわけですが、授業の方も道徳・総合・国語・理科の授業公開が行われておりました。皆様御承知のように立派な建物で、多目的ルームであるとか図書室や階段教室とか、ガラス張りの立派な建物なのですが、これをどのように一貫教育へ使うのかなど、参観された方々も皆興味津々で御覧になられたのではないかと思います。本当に子供たちに今必要な力——キャリア教育を中心として教科に発展させて小中の先生方の乗り入れであったり、子供同士の交流であったり。小学校の先生は、小学校を卒業した時の子供の姿をイメージしながら小学校の教育にあたる。中学校の先生も小学校のどこで躓いているのかに思いを馳せながら中学校の授業にあたるということで十分意義のあった内容だったかと思います。まだ9月1日に発足したばかりでよちよち歩きではありますが、わずか短い時間で随分充実しているな、これからだと楽しみで、しっかり施設を活かした内容の教育を行ってほしいと期待を込めて見たところで、とても嬉しく思います。学教の方からいろいろ御指導あったかと思いますけど、引き続きど

西村委員	うぞよろしく願いいたします。 ・成人式の開催要項についてお聞きします。今年度は二部制ということですが、二部制にするのであればもう少し時間を空けたらどうかという案は無かったのでしょうか。これだと間隔が短いのではないかと思います。第一部の終了から第二部の始まりまで、間隔が1時間半ですよね。ですから第一部で出た人たちが出口にごろごろいて、第二部の人が受付開始よりも前に来る人も結構いらっしゃると思います。そうすると意外と混乱する可能性もあるのではないかと思います。もう少し間を空けるなり、同じ二部制なら午前と午後にするなり、そういう案は無かったのですか。
生涯学習課長	・元々、今まで一部制で開催をしていたのですが、開始予定時刻が午後1時か2時だったと思います。そうしますと、女性の着物の着付けがそこまでに終われば良いということで予約を取れていると思うので、それを午前にするというのは難しいかと考えましてこのようにいたしました。
西村委員	・着付けの時間の予約ですか。もう少し間を空けても良いのではないかと思います。それは計画で色々対処できるということですか。入り口の前でいつもたむろしていますよね。すぐに入らなかったりして。
生涯学習課長	・その対策については今、動き等は十分に検討しております。
西村委員	・出席人数は大体半々な感じですか。
生涯学習課長	・はい。
西村委員	・500人ずつくらいですか。
生涯学習課長	・はい。
西村委員	・その辺はよく検討して比較してください。
竹田委員	・先日、本郷小中学校へ行かせていただいて、学び合うことで思考力を高める授業づくりということで主に複式学級を見学しました。私は、最初は娘が複式になるということで抵抗があったのですが、よく授業を見てみたら、すごく先生方が努力されていて、人数が少ないのに子供の個性がよく見えていて、とても良いなと思いました。授業の在り方が一つではないことがよく分かって、とても良かったと思います。
教育長	・別にないようでしたら、以上で報告第15号を終わります。 ・次に、日程第3「議案第33号 令和2年度教育費12月補正予算の見積りについて」を議題といたします。なお、これ以降の日程については、公表までの間、議事については非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。
各委員	・異議なし
教育長	・御異議なしと認め、日程第3以降は非公開といたします。 ・それでは非公開として議事を進めてまいりますので、関係者以外の方は退出をお願いします。

教育長 教育政策課長 学校教育課長	< 傍聴人退席 > ・ それでは、教育政策課から説明をお願いします。 ・ 議案第 33 号 令和 2 年度教育費 12 月補正予算の見積りについて、別紙のとおり提出するものでございます。令和 2 年度予算 12 月歳出歳入等補正予算の一覧表に沿って、各担当から説明いたします。 ・ まず、教育政策課所管分から説明いたします。教育政策課は、歳出の補正になります。1 ページの歳出、10 款教育費についてです。中学校費の学校営繕費と学校施設整備費の工事請負費の増額補正を計上しております。補正の詳細ですが、学校営繕費は高圧受電設備機器更新工事です。民間で高圧受電設備機器老朽化による事故が生じておりまして、機器が同程度老朽化しております麻里布中学校及び灘中学校については、早急に機器更新するため計上しております。 ・ 次に、学校施設整備費ですが、今年度は中学校からの施設点検依頼が増加しておりまして、今年度の執行状況を踏まえますと予算不足が見込まれるところでございます。今年度行いました岩国中学校特別支援教室等の改修工事に要しました工事費分を補填するために計上しております。以上が教育政策課になります。 ・ それでは学校教育課分を御説明いたします。 ・ まず学校給食運営基金積立金につきましては、特定防衛施設周辺整備事業により基金の積み立てを行っておりますが、市役所内での調整により 430 万 7,000 円増額されることになったもので、積立金を 4 億 9,811 万 5,000 円としております。 ・ 次に、小学校教育備品整備費についてでございます。こちらは、株式会社山口銀行様から頂いた寄附金を活用し、学校児童図書の新なる充実を図るものでございます。歳出の内訳は、寄附いただいた全額を児童図書購入の費用として、一般備品を 10 万円計上しております。 ・ 続きまして、東小・中学校施設整備事業について御説明いたします。今年度、東小・中学校について施設一体型として整備を行ってまいりました。各種消耗品や備品の購入、引越し作業などを行ってまいりましたが、今年度分の作業が終了しましたことから、予算の執行残額を減額補正するものです。消耗品費につきましては予算額 79 万円に対しまして、粉末消火器などの消耗品を購入いたしました。合計の支出見込額は 41 万円となりましたので、予算額から支出見込額を差し引いた 38 万円を不用額として減額補正いたします。同様に物件委託料につきましては、予算額 1,708 万 7,000 円に対しまして、引越し作業であるとかパソコン等の移設業務などを行い、合計の支出は 1,331 万 2,654 円を見込んでおり、不用額を 377 万 4,000 円としております。一般備品につきましては、予算額 7,647 万 9,000 円に対して、4 K 液晶テレビ、可動式机・可動式椅
-------------------------------------	--

青少年課長	子・教卓などを購入いたしまして、合計の支出額は 6,780 万 563 円を見込んでおり、不用額を 867 万 8,000 円としております。この不用額を減額補正するというものでございます。 ・次に、学校給食費について御説明いたします。通津小学校と中洋小学校の給食につきましては、来年度から岩国学校給食センターから給食が配送されることに伴いまして、今年度末までに受配校、受入校としての整備工事を行う予定でございますが、各学校との再調整を行ったところ、搬入箇所の変更や配膳車の動線の確保等に伴う追加の工事が新たに発生したため、不足額を補正するものでございます。歳出の内容は、物件工事請負費として当初 528 万 2,000 円を計上しておりましたが、430 万円を増額補正し、958 万 2,000 円としております。 ・続きまして歳入について、先ほど御説明した株式会社山口銀行様から頂いた 10 万円の寄附金を小学校費寄附金として計上しております。 ・最後に債務負担行為の設定についてです。スクールタクシーの運行にあたりましては、運行業務を業者に委託することとしております。業者決定を入札により行い、その後道路運送法の規定に基づき国土交通大臣の認可を受けた上で業務を実施していますが、事業許可の標準処理期間が 3 ヶ月とされていますことから、翌年 4 月 1 日の運行実施のために 12 月議会で債務負担行為を設定する必要があるというものでございます。路線につきましては、小学校では杭名小学校、藤河小学校、高森小学校、中学校では東中学校、岩国西中学校が対象となっております。 ・それでは続いて青少年課・教育センターです。まず、青少年対策費のうち、青少年育成センター関係費の報償費です。これは減額補正をするものです。補導員等の活動がコロナ禍のため実施できなかったことや、新港の花火大会や錦帯橋の花火大会等で大会が行われずお祭りが行われなかったため、活動が行われない。それに伴い報償費が減額されたもので、67 万 8,000 円の減額補正です。 ・引き続き教育センター費のうち、教育センター管理運営費、需用費の中の燃料費です。これはコロナ禍の中の研修において、換気したまま冷房をつけるということがあり、L P ガスでの冷房になっておりますのでどうしてもそこにお金がかかったというものです。それから山間部においての生徒指導に関する支援のため、指導主事が山間部に入ることが多かったということで、併せてガソリン代がかかってきているということで、23 万円ほどの補正を行うものになります。続いて役務費の中の通信運搬費です。これは教育センターにおける電話代が予想以上にかかったということで、6 万 5,000 円の増です。既に相談等の業務が現時点で 1,400 件を超えており、また保護者への対応の電話をすることや受け取ることが多く、1 件の電話が 30 分以上ということも多々ありますので、そういった中で、どうしても今は携帯の方に電話することが多いので電
--------------	--

	話代がかかってしまったことでの補正になります。 ・それから、問題を抱える子ども等の自立支援事業のうちの報償費です。心の支援員、いわゆるアウトリーチ型の家庭訪問支援員のニーズが非常に増えていること。これはコロナ禍の対応の中の大きな対策の一つだと思っています。ですので積極的に家庭に出向き、不登校傾向の子供たちに支援員が関われるようにしっかり活動の予算を取ったということで、37万5,000円ほどの増額を見込み補正しているものです。
教育長	・ただいまの説明に、御質問・御意見がありましたらお願いします。
村尾委員	・青少年課から説明があった心の支援員ですが、これは何人いらっしゃるのですか。
青少年課長	・5名で動いています。プラス今2名ほど新たに、教職の経験者1名とそういったことに興味があるという保護者の方1名の7名体制で動こうとしております。
村尾委員	・これが中央支援教室と西支援教室と南支援教室の3つで7名が体制をとっているのですか。
青少年課長	・これは、直接支援教室ということではなくて、学校からの要望によってセンターが派遣しているというものになります。ただおっしゃるとおり、支援教室の支援員の多忙感であるとか、対応しきれないところについてもこの心の支援員を活用していきながら、次期の支援員としての研修期間としても考えておりまして、そういうのも含めて、センターとして活用しています。
村尾委員	・1回につきいくらの報酬を充てているのですか。
青少年課長	・1時間につき2,700円くらいです。
村尾委員	・家庭訪問して指導する人数が不確定ですよ。今週は行ったが次の週はもう来なくていいよ、ということもありますよね。ですから支援員が仕事をするにしても、不確定な要素が多々あると思います。それが少し難しいでしょうね。
青少年課長	・そうですね。ただ学校としては、自宅まで行って引きこもり傾向にある子供に学習を担保していく――週に1、2時間程度でも誰かが入って様子を見たり、保護者と話をしたりという方が学校以外におられるというのは、情報を含めて非常にニーズが高いです。このシステムをまだよく知らなかった方もおられるので、積極的に校長会等でアナウンスして、相談を受けたときに、「こういう心の支援員というのを活用してみませんか」と言ったところ、校長を通じて「それは是非」ということがありました。一度軌道に乗ると「今年もまたぜひお願いします」という継続の案件が多いです。
村尾委員	・心の支援員を利用しながら学習、学力の確保、それにプラス支援教室にも行ってみようかと思うようになる。外に出るチャンスもいろいろ話しながら学習支援をすると学校復帰にも繋がってくるということで、なか

生涯学習課長	なか良いシステムではないかと思うのですが、家籠りの子供にも対応するというのはなかなか難しいと思います。それでこの補正を取ったということで。回数がどんどん増えてきているんですね。内容がよく分かりました。 ・繰越明許費補正について報告が漏れておりましたので私から説明をさせていただきます。中央公民館の建替えに伴う「岩国市中央公民館等建設基本設計策定業務」、「岩国市中央公民館等建設地質調査業務」、「岩国市中央公民館等建設測量業務」は関連した業務なのですが、これらが「岩国市中央公民館等建設基本計画策定業務」を受けて発注するものでありますが、その完成が本年9月になったことにより年度内の基本設計の発注が困難となったため繰越しをいたします。
西村委員	・この完成予定は来年の12月ですか。
生涯学習課長	・基本設計業務が、です。
西村委員	・建物ができるというわけではないのですね。
廣田委員	・学校教育課の学校給食費関係の御説明が先ほどありましたが、御心配です。今回は12月の補正予算で良いのですが、通津小学校と中洋小学校が自校炊飯ではなくなるということですよね。そのために受け入れの搬入口であるとかを業者が搬入しやすいように改良するための補正ということですよ。今、教育次長と市内の小中学校を全部回っているのですが、このように自校炊飯から中央の配送になったときに、いろんな業者が時間差で来る――牛乳が来てその30分後に温食が来てまた何分か後にパンが来て、というようにタイムラグがあるので、それに対応する職員――衛生上絶対に誰かがついていないといけませんので市職員の方がこれに付いてまわる。そうするとかなりの時間が取られて、環境整備などの他の業務が手薄になって困っているという意見をこのようなパターンの学校長から聞いております。来年度予算を決められるときにそういった状況も聞かれて、そうすると今度は人件費になると思いますが、その辺が絡んできますので、予算を組んでしまってからでは遅いので関連してお願いしたいと思います。状況をよく聞いてみてください。
教育長	・別にないようでしたら、議案第33号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。
各委員	・異議なし。
教育長	・御異議なしと認め、議案第33号は原案のとおり決します。 ・本日の議題は以上でございます。それでは、次回の教育委員会会議の日程について、事務局からお願いします。
教育政策課長	・次回の定例会は12月24日木曜日、市役所本庁2階特別会議室にて14時から所属長会議を、14時30分から教育委員会会議を開催いたします。
教育長	・これをもって、令和2年第12回岩国市教育委員会会議を終了します。

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 村尾 利勝

教育委員 竹田 千恵